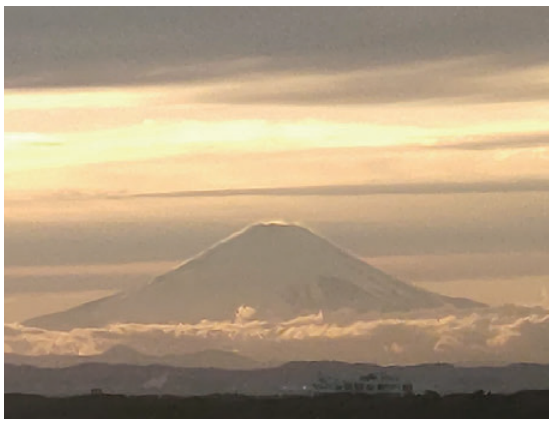
Futtsu 議会だより

No.207
令和5年11月9日
Fall 2023
発行／千葉県富津市議会
編集／千葉県富津市議会 広報委員会
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
Tel.0439-80-1331 Fax.0439-32-1361
https：//www.futtsu-gikai.jp/

コロナ禍などにより、中止や会場の変更を余儀なくされていた「富津市民花火大会」が、４年ぶりに富津海水浴場で開催（７月22日）されました。2300発の花火が打ち上げられ、５万人の観客を魅了しました。【写真提供：地域写真家　浅倉 真一さん】



「煌（きら）めきまとう刻（とき）」
写真提供：笹毛・澤邉 高廣さん

富津絶景 51

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、歓びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。
（上記編集先まで）

決算審査特別委員会報告……２～３Ｐ
代表質問……４～５Ｐ
個人質問……６～８Ｐ
個人質問・９月定例会……９Ｐ
９月定例会……10Ｐ
議決結果……11Ｐ
トピックス・定例会日程……12Ｐ

◆決算審査特別委員会

令和4年度決算審査特別委員会（8人）において9月13日から2日間にわたり、一般会計歳入歳出および特別会計歳入歳出について、決算書・主要施策の成果説明書を用いて審査を行いました。

まず、委員会審査前、小規模分散型水インフラ整備事業における山中奥畑簡易給水施設の現地調査を行いました。

その後、委員会審査において、今後の行政運営にどのような改善がなされるべきか、様々な観点から検証を行い、事業評価と次年度予算等へどう反映されるか等を審査しましたので、主な質疑を報告します。

AI/センシング技術を用いた小規模分散型水インフラ設備を視察する様子

◆一般会計歳入歳出決算

《歳入について》

・性質別目的別決算額の地方特例交付金が、前年度と比較して減少している理由

・市税収入が、前年度と比較して減少している理由

《歳出について》

●総務費

・ログミーツ（AI自動文字起こし）導入による業務時間の短縮効果

・高速バスのPR方法、また運行本数増加の検討の有無

房総なのはな号（白浜ー東京線）1台のラッピングバスが原則1日2往復している

・空き家バンクの問い合わせ件数と該当地域

・交通空白地区有償運送事業の他地区交付金適用の可否

・公共交通利用者の内訳および増加要因

・AED設置場所および借り上げ料の現状

▼各会計別決算額

会計名		予算現額	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		220億3,078万9千円	215億78万8千円	205億4,942万1千円	9億5,136万7千円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	57億9,494万9千円	55億752万7千円	54億2,304万9千円	8,447万8千円
	後期高齢者医療特別会計	7億215万4千円	7億667万円	6億9,294万9千円	1,372万1千円
	介護保険事業特別会計	54億7,418万円	54億4,348万6千円	53億3,169万8千円	1億1,178万8千円
	計	119億7,128万3千円	116億5,768万3千円	114億4,769万6千円	2億998万7千円

※歳入総額、歳出総額、差引額については、千円未満は四捨五入しているため、合計額が合わない場合があります。
※一般会計の差引額のうち、2億2,470万円は翌年度へ繰り越すべき財源となる。

▼基金一覧表（令和4年度末現在高）

区分	前年度末残高	決算年度末残高	区分	前年度末残高	決算年度末残高
財政調整基金	25億468万6千円	26億8,365万2千円	公共施設等マネジメント基金	9億9,191万3千円	13億7,090万円
学校教育振興基金	3,242万4千円	2,769万8千円	学校施設整備基金	456万7千円	445万3千円
福祉振興基金	1,649万4千円	1,690万4千円	森林環境基金	2,032万6千円	3,097万円
児童福祉基金	4,871万5千円	4,821万4千円	図書整備基金	500万円	0円
交通遺児等福祉基金	1,564万5千円	1,564万6千円	国民健康保険基金	6億8,763万5千円	6億6,472万1千円
漁業振興基金	2,084万7千円	2,084万7千円	高額療養費貸付基金	851万9千円	851万9千円
青少年国際交流基金	171万3千円	151万3千円	介護保険給付費準備基金	3億4,160万7千円	3億　147万2千円
社会教育施設管理運営基金	3,933万9千円	3,653万5千円	合計	47億3,991万2千円	52億3,252万6千円
中山間地域農村活性化基金	48万2千円	48万2千円			

●民生費、衛生費

・手話通訳資格者の現状
・ひとり親家庭支援事業において、件数減に反して事業費増の要因
・准看護師の育成状況
・富津聖苑の契約内容
・ごみ収集量および焼却量減に反して委託費増の要因

●農林水産事業、商工費、土木費および災害復旧費

・プレミアム商品券の利用実績
・地籍調査の進捗状況
・公園施設改修工事の詳細と今後の予定
・有害鳥獣処分方法およびジビエ事業活用への考え方

ふるさと納税の返礼品としても活用されているジビエ（猪肉）

●消防費、教育費、公債費および予備費

・消防車両更新目安の年数および走行距離
・災害用備蓄品の入れ替え時期および消費期限間近な備品の利用方法

小学校の防災学習会（出前講座）などで災害用備蓄品を配布し、備蓄品のローリングストックを実施している

・小中学校の生理用品備蓄および供給における問題の有無
・ＩＣＴ教育推進事業の修繕料内訳および保険適用の可否
・水泳事業委託の評価および今後の課題
・市民文化祭事業におけるコロナ前と現在との比較
・鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会の活動状況

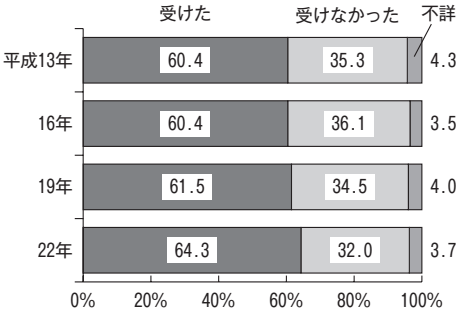
●総括的質疑

・債務負担行為の期限終了後の事業の考え方
・コロナ関連事業および原油価格物価高騰対応事業における国・県・市の財源合計額
・地方債の金利選択基準の内容
・各課所有の通帳管理方法の現状
・各種給付事業の通知文を見てもらうための工夫点

等の質疑があり、反対討論・賛成討論の後、**賛成多数**で認定されました。

◆国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

・健診を初受診した人数
・ＡＩ活用による健診受診率の動向



注：入院者は含まない。

健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診状況（厚生労働省ＨＰより引用）

・一般被保険者傷病手当金の増額の要因および取り扱い

等の質疑があり、賛成討論の後、**全員の賛成**で認定されました。

決算審査特別委員会の様子

◆後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

質疑はなく、反対討論・賛成討論の後、**賛成多数**で認定されました。

◆介護保険事業特別会計歳入歳出決算

・福祉・国保・介護ガイドブックを毎年発行していない理由

等の質疑があり、反対討論・賛成討論の後、**賛成多数**で認定されました。

地域経済循環の構築

政友会

平野　英男
議員

問　環境省提供の地域経済循環分析ツールより抽出される、２０１８年の富津市内の全産業の一人当たり労働生産性の平均額と全国平均額は。また、全市区町村の中での富津市の順位は。

建経部長　左表のとおり。

問　２０１８年の富津市民の一人当たり所得額と全国平均額は。また、全市区町村の中での富津市の順位は。

建経部長　左表のとおり。

問　富津市の労働生産性は全国的に見ても高いが、稼いだお金が地域外に流出しているため、住民一人当たりの十分な所得につながっておらず、全国平均より低い。では、本社等への所得の流出入額の推移は。

建経部長　環境省提供の地域経済循環分析ツールによると、本社等への所得の流出入額は、２０１０年が２４８億円の流出、２０１３年が69億円の流出、２０１５年が４０２億円の流出、２０１８年が３７６億円の流出となっている。

問　市内の全産業間の取引過程で域外流出している業種を明確にし、経営・技術支援をすべき企業のターゲティングを行い、ニーズに合わせた支援策を講ずることで域外流出を抑制する必要があるが。

建経部長　市としてどのような支援ができるかも含め、調査・研究していく。

問　域外へ所得が流出している企業と連携した地域再生事業の展開が望まれる。ウィン・ウィンの関係で地域経済の発展に貢献できる事業展開を目指してほしいが。

市長　企業が活性化し、労働生産性が高まれば企業が潤う。潤えば従業員に還元され消費が活発になる。消費が増えれば、さらに市内の産業・業種間での経済も活発になる。地元企業や関係団体と連携して、国県の動向も注視し、有効な施策展開ができるよう努める。

労働生産性	地域住民所得
平均生産性　1,026万5,000円/人	一人当たり所得　408万円/人
全国平均　962万5,000円/人	全国平均　439万7,000円/人
272位/1,741市区町村	1,258位/1,741市区町村

環境省が提供する地域経済循環分析システムから抽出される、富津市の労働生産性と地域住民所得

子育て支援・移動しやすいまちづくり

政友会

宮崎　晴幸
議員

問　現在、行われている子育て支援について伺う。

市長　今年度は、子ども医療費助成の対象を高校生相当までに拡大するとともに、中学校３年生・第３子以降の学校給食費の無償化などを実施している。

問　高校生相当に対する子ども医療費助成のスケジュールは。

健福部長　現在、ウェブにより申請を受け付けている。申請内容を審査した後、９月下旬頃に子ども医療費助成受給券を郵送する予定。

問　子どもインフルエンザ予防接種費用助成の概要は。

健福部長　中学３年生および高校３年生相当の方に対して、一律２千円を上限として助成する。10月１日からの接種開始に向け、対象者全員に対し個別通知を行う。

問　第３子以降等の学校給食費を無償化したことによる影響額は。

教育部長　下表のとおり。

問　移動手段の確保を実現するための市の計画について伺う。

市長　公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、今年度から５年間の「富津市地域公共交通計画」を策定した。

問　市内には、多くの交通が不便な地域があるが、大佐和地区の今後の展開は。

企政部長　今年度は大佐和地区のうち、吉野地区および佐貫地区で地域住民とともに、さまざまな方策から地域に合った移動手段を考える機会を設ける。対象地区の区長には概要を説明しているが、今後は、住民とより具体的な検討を進めていく。

問　既存のバス、タクシー事業者が抱える課題は。

企政部長　運転手の高齢化、人材不足が大きな課題と聞いている。

問　二種免許取得への支援は。

企政部長　二種免許の取得支援制度を今年度構築する予定。

学校給食費無償化による影響額

区分	人数	影響額
中学３年生	301人	18,872,700円
第３子以降	373人	39,125,900円

※表の数値は令和５年度予算ベース

目指す10年後の「誇りと愛着を持てるまち ふっつ」

自由民主賢政会

三木　千明
議員

問　個人的にも、会派としても取り組んでいる「富津市の人口増加策」に関わる、目指す10年後の「誇りと愛着を持てるまちふっつ」について、具体策と言える富津市みらい構想の施策内容等を中心に伺う。1点目に「産業が元気なまち」の実現に向け、市内各事業者等が安心して事業を営める環境が整備され、産業が活性化し、来訪者であふれるまちを目指し、商工業の振興を促進するため、市ではどのような取り組みを行っているのか。2点目に「訪れたいまち」の実現、市のにぎわい創出に向けて、多くの方々に「訪れたいまち」として富津市を選んでもらうことが必要と考えるが、市ではどのような取り組みを行っているのか。

市長　「産業が元気なまち」の実現に向けては、商工業の振興を促進するため、工場新設や設備投資を希望する企業に対し、税制優遇や奨励制度の案内を行い、進出等の実現に向け、支援を行っている。また、富津市商工会等と連携し、事業承継および創業等に係る事業者支援の推進、中小企業資金融資対策事業等を実施。次に「訪れたいまち」の実現に向けては、多くの人に富津市を選んでもらうため、海や山などの豊かな自然環境、農・海産物や酒などの地場産品、都心からのアクセスの良さなどの「ふっつの自慢」を生かしながら、観光イベントへの参加やプロモーションの実施に取り組んでいる。鋸山の日本遺産認定を見据えた観光施策の検討など、魅力ある観光地づくりを推進していく。

問　アフターコロナとなってから、市を訪れる観光客の状況は。

建経部長　左表のとおり。

問　東京湾アクアラインで特定の時間帯の割引料金を変動させるロードプライシングが開始されたが、富津市へ観光客を導くための仕掛けづくりが必要ではないか。

市内の主要観光施設への入込調査の推移

区　分	人　数
平成30年度	207万人
令和元年度	186万人
令和２年度	123万人
令和３年度	160万人
令和４年度	187万人
令和５年度	73万人

※令和５年度の数値は７月末現在のもの

建経部長　君津地域の市、観光協会および民間事業者で組織するアクアラインイースト観光連盟で、情報発信プラットフォームの開設や各種観光キャンペーン事業の実施が予定されている。

問　市内への「道の駅」設置について進捗状況は。

企政部長　道の駅の候補地選定に向けての調査や管理運営方法について研究を進めている。5月に県内外の道の駅の視察を行い、最新施設の機能、周辺環境の状況等を調査。今後は、道の駅を整備するに当たり、運営方針などを盛り込んだ道の駅基本方針を示す予定。

問　浅間山周辺地に大手企業の進出が決定したと聞いたが。

建経部長　株式会社ＦＲＤジャパンは、木更津市などでサーモントラウト実証実験プラントを運営し、魚を安定生産することに成功した。候補地の中から、立地に優れている浅間山砂利採取跡地の富津市数馬地区へ、サーモントラウトの陸上養殖商業プラントの建設が決定。操業開始は令和８年、出荷開始は令和９年の予定。

問　浅間山周辺地への企業進出により、市に期待される効果は。

建経部長　従業員の新規雇用、税収の増加のほか、サーモントラウトを「おかそだちサーモン」というブランド名で販売し、市の新たな産品として期待ができる。

問　房総地域東京湾口道路建設促進協議会の総会が9年ぶりに開催されたが、その概要は。

企政部長　会議には、県中南部13市町の代表者が出席。議題は事業計画、協議会の今後の方針等で、全て承認された。13市町が一体となり、県や国土交通省等への要望活動を活発に実施するほか、民間の経済団体等にも活動への参画を呼びかけ、官民一体となった期成同盟を、来年4月頃を目途に設立する予定。

令和５年７月27日に富津市役所で開催された「房総地域東京湾口道路建設促進協議会総会」

アフターコロナの中で、どこまで観光は回復したか

諸岡　賛陛
議員

問　新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更された。変更後、初めての夏休みを迎え、いろいろなイベントも実施されるようになった。今までの生活に戻りつつあるのは実感しているが、アフターコロナの中で、どこまで観光が回復したのか伺う。

市長　コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされていた各種イベントなども再開され、富津市への来訪者も増え、活気とにぎわいが戻りつつあると感じている。7月に開催された第8回富津市民花火大会では、過去最高の約5万人の来場があった。引き続き、多くの方に富津市へ訪れてもらえるよう、市の魅力や観光資源の情報発信に努め、観光キャンペーンなど効果的なプロモーションを実施していく。

問　アフターコロナの中で、観光の在り方は大きく変わってきていると思う。旅行客層も団体客から個人客に変化して、外国人観光客も戻ってきているようだが、富津市の観光の在り方、方向性について伺う。

建経部長　観光客のニーズは多様化しているため、的確に対応できるよう情報収集に努め、旅の動機や目的、スタイルなどに合った情報発信等を行うことで、市内の誘客につなげていく。なお、インバウンドの対応については、今後、急拡大も予想されることから、市内受け入れ可能施設等の調査を進めるとともに、キャッシュレス化の促進や情報通信環境の整備に向けた研究などに取り組む。また、多くの訪日外国人が富津市に訪れてもらえるよう、令和5年6月には市内の民間事業者とともに千葉県が行う海外セールス事業に参加した。引き続き、関係機関と連携し、さらなる誘客に努めていく。

富津海水浴場で開催された
「第８回富津市民花火大会」

市民の安全と安心を守る取り組みについて

関　努
議員

問　不登校の児童が急増している事態を受け、文科省は不登校対策「ＣＯＣＯＬＯプラン」を策定した。不登校支援について伺う。

教育長　スクールカウンセラーや自立支援指導員等を配置し、学校と連絡を取りながら、不登校の児童・生徒や保護者と向き合い、教育センターを窓口に相談体制を整え、細やかな対応をしていく。

問　教室に行きづらくなった児童・生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境について伺う。

教育長　中学校3校に適応指導教室をつくり、学習や生活ができるようにしている。児童・生徒の相談に乗り、寄り添い対応に努める。

問　高齢者等に対する買い物支援と介護施設、商業施設等が連携した送迎デマンド交通について伺う。

市長　ボランティアの協力により、高齢者等を対象に、医療機関などへの送迎支援を実施している。交通事業者等を支援し、地域性を生かした支援策を推進していく。

問　認知症基本法が6月に成立した。認知症の人や家族が安心して暮らせる共生社会の実現に向けた、相談体制等の総合対策を伺う。

健福部長　認知症の方が尊厳を保持し暮らすことができ、本人や家族が安心して生活を送れる施策を、次期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定において検討する。

問　ゼロカーボンシティー宣言について、検討状況を伺う。

市長　宣言の表明に向け、温室効果ガスの削減目標や目標達成に向けた「富津市地球温暖化対策実行計画」の策定に取り組んでいる。

問　地域の事業者との協力体制の構築、教育環境や再エネ・省エネの推進、設備設置補助、ＥＶ、ＰＨＥＶ、ＦＣＶ導入に向けた協定の締結等について伺う。

市民部長　多くの有能な企業や最先端技術を持った企業と協力体制の構築を協議していく。

誰も取り残されない学びの保障を社会全体で実現する「COCOLOプラン」
（「COCOLOプラン」（文部科学省）（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1397802_00005.htm）を加工して作成）

資質向上／デジタル化の取組／教育学習環境

佐久間　勇
議員

問　部署におけるプロフェッショナル職員の育成についての考えは。

総務部長　採用後、おおむね10年以内は、質的に異なる職場をバランスよく経験できるよう、ジョブローテーションによる人事配置をして、幅広い知識、経験が得られる職員の育成を目指している。

問　市では行政手続のデジタル化がどの程度進んでいるのか。

市長　マイナポータルやロゴフォームを活用して行政手続のオンライン化を進めている。マイナポータルからの手続について、転出・転入は今年2月から、子育て・介護分野の26の手続は7月からマイナンバーカードを用いたオンライン申請が可能となっている。また、現在、選挙の不在者投票用紙等の請求や消防法令関係の申請手続等についても準備を進めている。さらに、集団検診の予約や職員採用試験の申し込み、子ども医療費助成申請、自家用大型貨物自動車等物価高騰支援給付金の申請など、申請時にマイナンバーを必要としない手続については、ロゴフォームを活用することでスマートフォンやパソコンからのオンライン申請を受け付けている。

問　市内の不登校児童生徒の実態と、その対応は。

教育長　年間30日以上の欠席のある不登校児童生徒は、小中学校合わせて令和2年度は29名、令和3年度は63名、令和4年度は86名、令和5年7月末現在35名。対応の一つとして、市では中学校3校に適応指導教室をつくり、指導補助教員や各教科、領域の担当教職員が関わり、充実した学習ができるよう指導・支援している。また、自立支援指導員を5校に配置し、児童生徒の相談に乗り、寄り添い、早期解決に努めている。一人一人に丁寧に向き合い、円滑な人間関係を築き、学校生活に適応できるよう支援している。

『あいたかった！』新学期　ともに喜ぶ仲間がいる

市民の生活を守る取り組みについて

福田　好枝
議員

問　現在、県補助金の活用で、第3子以降の給食費無償化と市独自で中学3年生の給食費無償化を行っている。今後、全ての小中学校の給食費を無償化する考えは。

市長　全ての小中学校の給食費無償化は、多額の財源を要する。今後も国や県の動向を注視するが、現時点で市単独では実施しない。

問　県内で完全無償化の市と町は12市町。県に小中学校全ての児童・生徒の給食費無償化を進めるよう働きかけるべきと考えるが。

教育部長　令和5年1月に令和6年度文教に関する国の施策・予算についての陳情で、学校給食費の無償化に対する財政措置について都市教育長協議会を通じ要望した。

問　国保税を下げるために全国知事会は国に1兆円の公費負担を要請している。1兆円の公費負担で、およそ1人いくら軽減となるか。

市長　令和4年9月末現在の全国の市町村国保における被保険者数で割り返すと、約4万円の減額が見込まれる。千葉県市長会から国に対して、国保財政基盤強化のための財政支援について継続しての実施と拡充を図ることを要請している。千葉県国民健康保険団体連合会からも国保財政基盤強化に公費投入を確実に実施するよう要望。

問　タクシーの利用促進のために、1回の乗車で使えるタクシー券の枚数を増やす考えはないか。

企政部長　現時点で考えていないが、タクシー運賃が今年秋頃に改定される予定と聞いている。今後、発表される改定幅を確認し、制度の利用動向がどのように変化していくか、分析していく。

問　公益財団法人どうぶつ基金のチケットによる避妊去勢手術の制度では、どのような環境の猫に対して活用できるのか。

市民部長　対象が野良猫であり、飼い猫は対象外である。制度の詳細について一層の周知が必要。

学校給食を無料に！

耐震改修促進・公共施設再配置

三富　敏史
議員

問　国や自治体が所有する施設の多くは、地震災害発生時に防災拠点としての機能を発揮することが求められる。市所有の庁舎や消防、学校の耐震化の現状は。

市長　国は阪神・淡路大震災を教訓に耐震改修の促進に関する法律を制定。市も学校施設を中心に耐震診断・耐震補強工事を順次実施。

問　耐震改修に係る技術開発が進む中、市が実施済の耐震改修事業はどんな技術が駆使されているか。

建経部長　在来工法の枠付き鉄骨ブレース補強や耐震壁増設が主体。

問　市の木造住宅の耐震改修は、どの程度進んでいるのか。

建経部長　令和4年度の木造住宅の耐震化率は83・4％と推計する。

問　昭和56年5月以前の旧耐震基準の建物と昭和56年6月から平成12年5月までの新耐震基準の建物は現在、市に何棟あるのか。

建経部長　住宅戸数約1万7千戸のうち旧耐震基準約2600戸で全体の15％、新耐震基準約9500戸で全体の56％となる。

問　耐震改修等に係る補助制度は。

建経部長　木造住宅の耐震改修工事と併せてリフォーム工事を行う場合、最大70万円を補助する。

問　高度成長期に整備された公共施設が一斉に更新時期を迎える。人口減少も加速し、税収も見込めない中、公共施設再配置推進計画を策定したが、現在の進捗状況は。

市長　計画に基づき、市内5カ所の出張所等の機能を市役所本庁等に集約。また、大佐和老人憩の家の解体や峰上地区公民館を廃止。引き続き、公共施設の保有総量等の適正化に向けて取り組んでいく。

問　計画は令和7年度までだが、令和8年度以降はどのように進めていくのか。

企政部長　市の財政状況や各担当課で作成した個別施設計画の内容等を踏まえ、見直しを行った上で、全庁横断的に再配置に取り組む。

耐震工事で補強し、地震が来ても大丈夫な家

高齢者・障がい者の支援等 小中学校跡地の利活用

千倉　淳子
議員

問　富津市のこれまでの支え合い体制づくり事業は。

健福部長　平成28・29年度は、地域のニーズ等を調査し「富津市いきいき百歳体操」活動を開始。平成30年度から令和2年度までは、地域の支え合いの体制づくり会議を通算11回開催し、初版「ふっつの地域支えあい手帳」を作成。令和3年度は、フレイル予防市民講演会を開催し、フレイルサポーター等の養成など。令和4年度は、第2版「ふっつの地域支えあい手帳」を作成。

問　地域支援事業は開始から8年経過したが、支え合い体制づくり事業をどのように進めていくのか。

健福部長　現在は地域ケア会議等を活用し、生活支援体制の構築・整備を図っている。

問　高齢者・障がい者の方で一般避難場所では困難な場合の避難は。

総務部長　一般的な避難は、安全な親戚・知人宅や市が開設する公民館、小中学校等の一般避難所となる。一般スペースでの生活が困難な場合は、避難所の要配慮者専用スペースで対応となる。また、避難生活が長期化する場合等は、福祉避難所を開設する。

問　小中学校跡地の利活用について進捗状況は。

市長　左表のとおり。

問　竹岡小は優先交渉権者を選定中とのことだが、決定の時期は。

企政部長　9月中を予定している。

問　市は住民の意見が反映されることを重要視するのか。理想的な跡地利用の考えは。

市長　利活用事業者の選定に当たり、審査項目の一つに「地域との調和」を設定し、配点も考慮している。また、事前に地域の皆さんとワークショップも開催し、その意見は、事業提案の参考とするよう、応募者へ働きかけている。

小中学校跡地の利活用の状況

区　分	状　況
旧環南小	令和5年4月からドッグパーク事業を行う事業者に貸付け
旧関豊小	地元の社会福祉法人へ土地建物を売却し、高齢者福祉施設として利用
旧天神山小	社会福祉法人が放課後児童健全育成事業として利用。地域の体育団体も利用
旧竹岡小	令和5年3月から利活用事業者を募集し、現在、優先交渉権者を選定中
旧金谷小	令和3年11月から民間事業者へ貸付け、地域情報サイト「まいぶれ富津市」等の運営拠点として利用
旧天羽東中	令和5年7月から民間事業者へ貸付け、撮影スタジオとして利用
旧佐貫中	文化財収蔵庫として利用。体育館・武道場は、大佐和中学校の部活動等で利用

学校教育における子育て支援拡充について

猪瀬　浩
議員

問　学校やさわやか教室に通えない児童・生徒が、オンライン授業を受けた場合の出欠の取り扱いは。

教育長　学校と相談して学習計画を立て、計画的に学習すること、オンライン授業を受け、学習課題を提出し、保護者と学校とが連携・協力関係を保ち、学校に通うのと同様の学びが保障される等、総合的に判断して「出席扱い」とできるようになっている。

問　部活動における保護者等による送迎時に事故が発生した場合の対策はあるのか。

教育長　保護者会にて送迎時の安全配慮のお願いをしているが、保険等の対応等も考えるべきと思うので、各学校と検討していきたいと考える。

問　他自治体が設けているような部活動交通費補助制度はあるのか。

教育長　市長が認めた部活動の他校との交流に係る交通費および機材運搬費を補助する制度はある。

問　今後の部活動の地域移行において、保護者等で任意団体を立ち上げた際、生涯学習バスは利用できるようになるのか。

教育部長　登録のある社会体育事業を行う団体が、市の代表として出場する大会利用に際しては、年間上限5回と定めているので、そのルールに基づいて判断する。

問　給食費第3子以降無償化制度において、船橋市等では、既に支払った給食費の遡及適用を認めているが、富津市でできない理由は。

教育部長　富津市では遡及できる旨の規定を定めなかったので、遡及ができないことになる。

問　この制度は、経済的に負担があるだろう第3子以降がいる家庭の負担軽減のために、議会としても承認したもの。今からでも遡及を認めることはできないのか。

市長　来年度以降、周知期間やその周知方法を考えながら、取り組んでいきたいと考える。

（単位：人）

区　分	R2	R3	R4	R5
30日以上欠席した児童・生徒	29	63	86	35
校外適応指導教室に通っている児童・生徒	4	8	8	4
校内適応指導教室に通っている生徒	10	16	22	6

不登校（年間30日以上欠席）児童・生徒の状況
※令和５年度の数字は、７月末現在のもの

９月定例会

令和5年9月定例会は、8月28日から9月21日までの25日間で開催されました。議案17件、報告5件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案の採決の結果は、11ページをご覧ください。

◆条例

▼火災予防条例の一部を改正する条例の制定

蓄電池設備を設置する際の位置、構造および管理に関する基準を変更する等のため、条例の一部を改正するものです。

▼工事請負契約の締結（学校給食共同調理場）

老朽化した「大貫共同調理場・天羽共同調理場・青堀小学校調理場」を新たに建設する学校給食共同調理場に集約します。（共同調理場の建設工事、電気設備・機械設備・厨房設備工事）

（総額　22億1519万円）

学校給食共同調理場完成予想図

▼市道路線（本郷前久保1号線）の廃止

県道君津大貫線（本郷バイパス）の整備に伴い、市道本郷前久保1号線は県道になるため廃止します。

▼市道路線（旧県道君津大貫線）の認定

県道君津大貫線（本郷バイパス）の整備に伴い、千葉県から移管される旧道部分を市道に認定します。

◆補正予算

▼一般会計
補正予算第5号
（補正額　△137万円）

交通安全施設対策事業、市立保育所運営事業、中学校教育振興費、現年発生林業施設災害復旧事業などに係る経費およびこれらに関連する歳入、人事異動に伴う人件費などを補正するものです。

・市立保育所運営事業
（177万円）

市立保育所における保護者による使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止することで、保護者の負担軽減や保育士の業務負担の軽減を図るため、各保育所で衛生的に処分するための備品等を購入します。

・中学校教育振興費　（25万円）

現在、使用されていない休眠楽器などを全国から募集し、中学校の吹奏楽部で使用する楽器を効率的に更新するため、令和5年10月から「楽器寄附ふるさと納税」を開始します。

40年以上前から使用され、全体的に劣化している楽器（チューバ）

【楽器寄附ふるさと納税の流れ】

募集楽器の登録［　市　］
▼
寄附の申込［寄附者］
▼
楽器の査定［事業者］
▼
寄附の承認［寄附者］
▼
楽器の受取［　市　］
▼
税控除［寄附者］

※楽器の査定額＝寄附額として、寄附者は税控除を受けることができる。

・交通安全施設対策事業
（231万円）

交通危険箇所の改善を図るため、市内で重大な事故が発生した箇所について、警察と合同で実施した緊急点検の結果を踏まえ、対策工事を実施します。

・市道東町海岸第2線ほか（富津地先）では、路面標示の無い交差点10箇所に交差点クロスマークの設置

・市道湊数馬線［上総湊駅側］（湊地先）では、滑り止め舗装、区画線の引き直し

市道湊数馬線（上総湊駅側）の様子

・現年発生林業施設災害復旧事業
（746万円）

6月の台風により、林道表高宕線（高溝地先）の路肩が崩落したことから、路肩の復旧やガードレール設置等の災害復旧工事を実施します。

路肩が崩落した林道表高宕線

三木 千明 議員
逝去

市議会議員 三木 千明氏は、去る10月25日ご逝去されました。（享年56歳）

故三木千明議員は、平成28年4月に市議会議員に当選して以来、2期にわたり活躍され、教育福祉常任委員会委員長、決算審査特別委員会委員長、予算審査特別委員会委員長など、多くの要職を歴任され市政の発展に貢献されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

令和5年9月定例会の議決結果

※議案17件、報告５件の議決結果は次のとおりでした。

議　　案　　等	議決結果	宮崎 晴幸	渡辺 純一	三富 敏史	福田 好枝	関 努	猪瀬 浩	諸岡 賛陛	三木 千明	千倉 淳子	山田 重雄	平野 英男	佐久間 勇	平野 明彦	福原 敏夫	石井志郎(議長)
工事請負契約の変更契約の締結（一般廃棄物最終処分場下水道放流施設工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
火災予防条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の締結（学校給食共同調理場建設工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の締結（学校給食共同調理場建設電気設備工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の締結（学校給食共同調理場建設機械設備工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
工事請負契約の締結（学校給食共同調理場建設厨房設備工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和５年度一般会計補正予算（第５号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和５年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和５年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和５年度介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和４年度一般会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和４年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和４年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和４年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
市道路線（旧県道君津大貫線）の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
市道路線（本郷前久保２号線）の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
市道路線（本郷前久保１号線）の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
令和４年度決算に基づく健全化判断比率の報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和４年度一般会計継続費精算報告書	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
専決処分の報告（３件）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○＝原案賛成　●＝原案反対

Topics 話題

甲州市議会との交流

７月22日に友好都市山梨県甲州市の議員６人が富津市を訪れ、市立図書館、第８回富津市民花火大会を見学し、情報交換会を開催するなど交流を深めました。

鴨川市からの行政視察

７月20日に鴨川市議会の議員10人が行政視察に富津市を訪れ「財政健全化の取り組み（富津市役所）・江戸前オイスター養殖の取り組み（新富津漁業協同組合）」について、説明を受けました。

富津ふるさとまつり

８月16日にイオンモール富津で「第46回富津ふるさとまつり」が開催され、14人の議員が出席し、石井議長が来賓として挨拶を行いました。

県消防操法大会

７月22日に第59回千葉県消防操法大会が開催され、富津市消防団第２分団（ポンプ車の部）、第７分団（小型ポンプの部）が君津支部の代表として参加。議長、副議長、消防委員が来賓として出席しました。

議会運営の課題答申

９月21日に石井議長からの諮問を受けて調査・検討した「議会運営の課題（議会報告会の在り方・タブレット端末の利活用）」について、７人の議員で構成する諮問会議から答申しました。

うまくたの里見学

８月17日に「道の駅木更津うまくたの里」に９人の議員が見学に訪れ、道の駅を運営している株式会社ＴＴＣ取締役 清水氏から説明を受けました。

12月定例会日程

11月28日（火）	10時	開会
		議案の上程
12月5日（火）	9時30分	一般質問
6日（水）	9時30分	一般質問
7日（木）	9時30分	一般質問
11日（月）		常任委員会
12日（火）		常任委員会
19日（火）	10時	委員長報告
		議案審議
		閉会

★12月5日（火）午前9時から議場コンサートを開催します。出演は大佐和中学校吹奏楽部の生徒の皆さんです。

※本会議の中継をご覧ください。

市議会ホームページ

編集後記

早いもので任期が残り少なくなってきた。

地方議会における動きがメディアでも最近報道される機会が多くなってきた。市民の方々より依頼を受けてすぐに解決できることや、時としてすぐに解決にならないことが多いのも事実。しかし我々は一所懸命に市政発展・地域発展のため日々働いている。議会広報紙は見えそうで見えない部分を知らせる情報紙でもある。

今後、少しでも市民の皆様の想いを形に変えられるように議会全体として努力していく所存である。（晴幸）